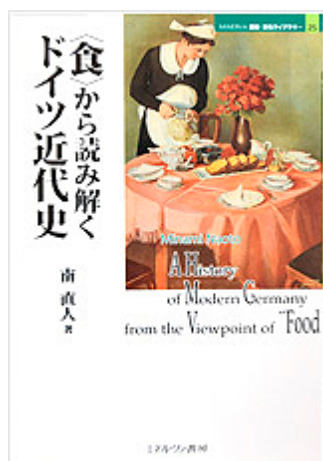


2014年度 出版助成図書



〈食〉から読み解くドイツ近代史

南直人 著

ミネルヴァ書房（2015/03/31 出版）

四六判／304頁

ISBN 9784623072798

¥3,500（税別）

<目次>

序章 ドイツの食文化形成の基盤ー 食のマクロヒストリー

第Ⅰ部 コーヒーとジャガイモからみたドイツ近代史

第1章 ジャガイモとドイツ啓蒙主義

第2章 コーヒーとドイツ帝国

第Ⅱ部 都市化と工業化のもとでの食生活の実態

第3章 都市化と工業化にともなう食生活の変化ー飲料ミルクを例としてー

第4章 家計調査からみた食生活の実態

第Ⅲ部 「科学化」「規律化」する食の世界ー近代国民国家ドイツと食の言説

第5章 国民統合と食の世界ー政治に利用される食の科学と食の教育

第6章 食の安全を保証するためにー食品偽装問題と食の「規律化」

終章 「食」からみたドイツの歴史風景



近世の公家社会と京都―集住のかたちと都市社会

登谷 伸宏 著

思文閣出版 (2015/03/23 出版)

A5 判/392 頁

ISBN 9784784217953

¥8,000 (税別)

<目次>

序章 近世都市京都研究における公家社会の位置

第一部 公家町の形成と変容

第一章 近世における公家町の形成について

第二章 陣中から惣門之内へ―公家町の成立とその空間的特質―

第三章 十七世紀後半における公家の集住形態について―近世以降創立・再興した公家を中心として―

第四章 元禄・宝永期における公家の集住形態と幕府の対応について

第五章 宝永の大火と公家町の再編

第六章 宝永の大火と公家の集住形態の変容について

第二部 公家と町

第一章 堂上公家の町人地における屋敷地集積過程について―久世家を事例として―

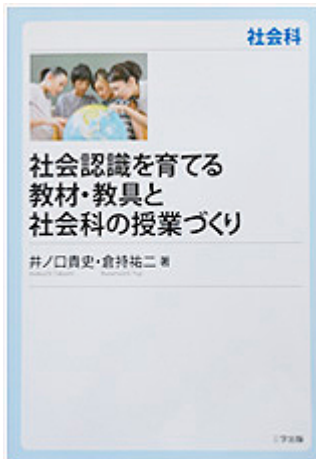
補論 町人地における公家の屋敷地買得について

第二章 町人地における久世家の居住形態について

第三章 幕末期における地下官人真継家の居住形態について

第四章 御産所と都市社会―靈元天皇の後宮を中心として―

結章 近世都市京都と公家社会



社会認識を育てる教材・教具と社会科の授業づくり

井ノ口 貴史・倉持 祐二 著

三学出版（2015/02/20 出版）

A5 判／164 頁

ISBN 9784903520933

¥2,000（税別）

<目次>

第1章 子どもの「学び」を引き出す「教材」と「教育内容」

第2章 「コンビニ」を素材に教材をつくる

第3章 時代のイメージを育てる生活文化学習を

第4章 ドラマのある歴史の授業をつくりたいー「漂流民とペリー来航」の教材開発

第5章 インターネット時代の教材づくりと授業



**文化面から捉えた東日本大震災の教訓
—ミュージアム政策からみる生活の転換**

木下 達文 著

かがわ出版 (2015/03/31 出版)

A5 版/352 頁

ISBN 9784780307542

¥2,700 (税別)

<目次>

第1部 震災と初動

- 第1章 地震発生直後について
- 第2章 文化分野における初動の一側面
- 第3章 MLAK 連携活動とその展開について

第2部 文化をめぐる被害・文化による支援

- 第1章 地域別の状況
- 第2章 ミュージアムの放射線被害とその再生
- 第3章 文化・芸術による被災地支援活動
- 第4章 平成の美術館勸進

第3部 震災から見えるいくつかの課題

- 第1章 復興（高台移転等）と文化資源保護との両立
- 第2章 放射線被害と伝統文化の継承
- 第3章 芸術（美術）による復興支援の一形態
- 第4章 復興と文化的シンボル
- 第5章 震災の記憶を伝える文化的拠点
- 第6章 文化による復興と地域振興

第7章 文化施設と危機管理

第8章 情報の客観性について

第9章 原発周辺の文化施設と文化資源保護の問題

第4部 脱依存と生活の転換

第1章 今後のエネルギー政策と地域の文化

第2章 エネルギー政策の転換

第3章 脱依存のマネジメントと文化

第4章 「住まう文化」とその未来

第5章 微電力利用文化構築に向けた生活の転換

第6章 生活の見直しとミュージアム